算式Ⅱ

K ＝2.03 ×（m － 1）＋4.85

算式Ⅱの符号

［略］

m　平成 28 年から平成 30 年までの各年における転入者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅲ

L ＝－ 2.51 ×（o － n）－ 3.77

算式Ⅲの符号

［略］

o　平成 28 年から平成 30 年までの各年における転出者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅳ

M ＝363.64 ×（q － p）＋6.35

算式Ⅳの符号

［略］

q　平成 29 年 1 月 1 日現在、平成 30 年 1 月 1 日現在及び平成 31 年 1 月 1 日現在における年少者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数が 3 を超える場合は 3 とする。）

算式Ⅴ

N ＝｛31.35 ×（s － r）－ 3.39｝＋（4.49 × s － 6.47）

｛31.35 ×（s － r）－ 3.39｝に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、3 を超える場合には 3 とし、1 に満たない場合は 1 とし、（4.49 × s － 6.47）に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、1 を超える場合には 1 とし、負数となるときは 0 とする。

算式Ⅴの符号

算式Ⅱ

K ＝1.95 ×（m － 1）＋4.59

算式Ⅱの符号

［同左］

m　平成 27 年から平成 29 年までの各年における転入者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅲ

L ＝－ 2.71 ×（o － n）－ 3.99

算式Ⅲの符号

［同左］

o　平成 27 年から平成 29 年までの各年における転出者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が 3 を超える場合には 3 とし、1 に満たないときは 1 とする。）

算式Ⅳ

M ＝384.62 ×（q － p）＋6.19

算式Ⅳの符号

［同左］

q　平成 28 年 1 月 1 日現在、平成 29 年 1 月 1 日現在及び平成 30 年 1 月 1 日現在における年少者人口比率の合計数を 3 で除して得た数（小数点以下 4 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数が 3 を超える場合は 3 とする。）

算式Ⅴ

N ＝｛33.96 ×（s － r）－ 3.64｝＋（4.49 × s － 6.45）

｛33.96 ×（s － r）－ 3.64｝に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、3 を超える場合には 3 とし、1 に満たない場合は 1 とし、（4.49 × s － 6.45）に小数点以下 3 位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、1 を超える場合には 1 とし、負数となるときは 0 とする。

算式Ⅴの符号